



春高バレー全国大会に出場する

しみず 清水 環那 さん

つかもと 塚本 汐音 さん



**PROFILE** つかもと・しおね (18・桜ヶ池) (左)、しみず・かな (18・佐倉三区) (右) 島田商業高校3年。2人は幼稚園の頃からの幼なじみ。ポジションは、塚本さんがライト、清水さんがリベロ。2人のポーズは島商勝利のおまじない。

### いざ全国の舞台へ

「春高バレー」の愛称で親しまれる全日本バレーボール

高校選手権大会静岡県予選が昨年11月に開催され、優勝した島田商業高校バレー部は、2年連続で全国大会への出場を決めた。同校は、一昨年の高校総体を皮切りに、選手権大会、新人戦など主要な県大会を全て優勝で飾る県内屈指の強豪校。その中でチームの中心選手として活躍しているのが、佐倉地区出身の清水環那さんと塚本汐音さんだ。

2人は、小学校低学年の頃からバレーを始め、所属していた黒潮東バレーボールスポーツ少年団でも全国大会に出場するなど、大舞台での経験は豊富だ。浜岡中バレー部でも活躍した2人は、そろって島田商業高校への進学とバレー部入部を決めるなど、常にバレーを通じてお互いを高め合ってきた。

### 高校3年間の集大成

春高バレー全国大会へ臨む

2人は「島商の特徴は、他のチームに比べて平均身長で劣る分、レシーブで拾って粘りのあるバレーをすること」と話す。

清水さんのポジションは、守りから攻撃に勢いを付けるチームの要となるリベロ。リベロから引き継いだ流れを、得点に結び付けるのが、アタッカーとしての塚本さんの役目だ。

島商バレー部でキャプテンを務める清水さんは「全国大会でも自分たちのプレーをして、1つでも多く勝って、支えてくれた両親に恩返しをしたい」と感謝の気持ちを忘れない。塚本さんも「今までの練習の成果を出し切って、悔いの残らない大会にしたい」と静かに闘志を燃やしている。

高校生活3年間の集大成でもある春高バレーは、2人にとつて忘れられない大会になることは間違いない。全国大会を間近に控えた2人に、焦りや気負いは感じられない。これまでの経験と積み重ねてきた練習を信じて、夢の舞台で思う存分楽しんできてもらいたい。